

各チームの葦舟寸評

トトラの舟



基本に忠実な設計。漕ぎ手の腕しだいか。

フォレストメディアワークス



回転性を重視した短い舟体。サイドフロートで安定性を確保するねらい。斬新な設計だが、浮力不足はいなめず。

八郷エンヤトット泥舟団



舳先と艫が高く吊り上がってるのが特徴的。間に張られた紐は案外邪魔かも。少し変わった太い葦（ダンチクかセイタカヨシと思われる）を見つけて使っているが、かえって浮力がなかったかもしれない。

上野 lovers



基本通りの設計だが、舟体が太いのが特徴的。これによる大きい浮力と漕ぎ手の腕がスピード部門の優勝をもたらしたか。

Lutri Lutra



技術部門の優勝艇。幅の狭い縄目が美しい。葦の穂が舳先と艫の両端に向くように組んでいることも美しい舟体を作っている。波よけとは別に、舟の横腹に取り付けたコラソンがビルジキールの役割を果たし、横揺れを抑えている。初心者でも安定して漕げる設計で、スピード部門で優勝争いをできた要因だろう。

シン葦わらの海賊団



見た目はペルー型だが、チチカカ湖型の船尾を大胆にも切断した舟体。浮力不足を招いたか。

葦わらの海賊団



基本設計だが、やや舟体が細く転覆しやすいかも。漕ぎ手の力量が試される。

チーム nicomaro



基本に忠実で反りが美しい。舳先の飾りが水面に映えている。

まるごといんばぬまプロジェクト



基本に忠実な舟体だが、あえて細く作ってある。直進性をよくして速くする作戦が功を奏し、前半は優勝争いを演じたが、後半は疲れたか、スピード部門3位。